

次世代ハイブリッドシステムの名称を「Honda Hybrid」に決定 ～Honda Hybrid 搭載モデルを 2027 年からグローバルで順次展開～

Honda は、グローバルで拡大するハイブリッド車の需要に迅速に対応するため、2026 年 5 月に発表した四輪事業再構築に向け、ハイブリッド領域への開発・生産リソースの再配分を進めています。この取り組みの一環として、システムを刷新し、2027 年よりグローバルで順次投入する次世代ハイブリッドシステムの名称を「Honda Hybrid」に決定しました。

Honda Hybrid

Honda Hybrid ロゴ

独自の 2 モーターハイブリッドシステム「e:HEV」で培った技術をベースに進化させ、「優れた燃費性能」と「五感に響く操る喜び」を高次元で両立する Honda ならではのハイブリッドの提供価値を、世界中のお客様へより直感的に伝えるコミュニケーション名称としてもグローバルで順次展開していきます。

Honda は、2029 年度までに北米市場をはじめとするグローバル市場へ「Honda Hybrid」搭載モデルを 15 車種投入する計画です。エンジンの高効率領域拡大に加え、ドライブユニットの高効率化・小型化や制御技術の進化などにより、さらなる燃費向上を目指します。

また「Honda Hybrid」を搭載した次世代のハイブリッドモデルでは、ボディーのしなりを活用してタイヤの接地力を高める「新操安剛性マネジメント」の採用により剛性の最適化と軽量化を図った「新開発プラットフォーム」をベースに、Honda 独自の統合制御技術「Motion Management System」や新開発の電動 AWD（オールホイールドライブ）などにより、Honda ならではの五感に響く上質・爽快な走りと、さらに安心して意のままの走りを実現します。

■Honda のハイブリッド技術の変遷

IMA (Integrated Motor Assist) - 1999 年発表

1999 年の初代 INSIGHT に初搭載された、エンジンを主動力とし、発進・加速時などにモーターがエンジンをアシストする軽量・コンパクトなパラレル方式ハイブリッド。Honda 独自のハイブリッドシステムとして、高い環境性能と走る楽しさを両立。

SPORT HYBRID i-DCD (Intelligent Dual Clutch Drive) - 2012 年発表

高出力モーターを内蔵した 7 速 DCT（デュアルクラッチトランスミッション）を採用する 1 モーターハイブリッドシステム。優れた燃費性能に加え、力強い加速とリズムカルで伸びのある加速感を実現。

SPORT HYBRID i-MMD (Intelligent Multi-Mode Drive) - 2012 年発表

発電用・走行用の 2 モーターを備えたハイブリッドシステム。高効率・大出力モーターの採用により、優れた燃費性能と EV 特有の滑らかで力強い走りを実現。発電用と駆動用の 2 つのモーターを搭載し、日常のほとんどを効率の良いモーターで走行。走行状況に合わせて 3 つの走行モードをシームレスに自動で切り替え、滑らかで力強い加速と高い静粛性、すぐれた環境性能を高度に融合させた高効率ハイブリッドシステム。2020 年以降はコミュニケーション名称を「e:HEV」とした。

SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All Wheel Drive) - 2012 年発表

エンジンと 3 つのモーターを組み合わせたハイブリッドシステム。左右独立モーターによる独自のトルク制御技術により、四輪の駆動力を最適に配分し、優れた環境性能と高い運動性能を両立。

Honda Hybrid – 2026 年発表

e:HEV のエンジンやドライブユニットなどの構成部品と制御技術を進化させた次世代ハイブリッドシステム。このシステム名称は、今後コミュニケーション名称としても展開。